

7月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
			1	2 エレマン・プレゼン WS 17:30 路地会	3	4
5	6	7 七夕	8	9	10	11
12	13	14	15	16 かき氷	17	18
19 0歳児乳児健診	20 幼児遠足	21	22 海の日	23 スポーツの日	24	25
26	27	27	29	30	31	

保健師より

今年の梅雨はいつまでなのだろうか？梅雨の季節が来ると毎年そう思います。たしか去年は7月いっぱいまで続いていましたね。今年はどうなのでしょう？

雨が苦手な私としては梅雨の季節も『心地よく』をテーマに過ごしたいのですが、体感温度、湿度は人それぞれ。体温が高く基礎代謝が活発な子どもも、寒がり大人も快適に過ごせるようにエアコンやドライ機能、風を使って適温を探り快適に過ごせるようにしていきたいと思います。

また、園では水遊びが始まりました。水遊びは、全身で水の感触を楽しめ、気持ちを解放出来ると同時に体力も消耗します。体調面にも気を付けながら今年の夏の水遊び！楽しみたいと思います。

○ 6月の感染症：RSウイルス4名

○ 0歳児乳児健診 7/19 (月) 9時30分～
つぼみ組の皆さんは、当日はなるべくお休みされないようお願いいたします。

東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

7月の保育主題

『空と海と大地と歌う』

あらゆるものが活動的になり、動き出す

氷がなくなっちゃー！ Hちゃんの氷への思いから

今年の6月は梅雨らしくなく、ジメジメした暑さをあまり感じずに7月になりましたね。これから雨続きになるようですが、梅雨明けをしたらあつという間に夏になりそうです。

私の周りには夏が好きな人が多いのですが、私は秋や冬の寒さや日照時間の短さが身体にしっくりきます。夏は涼しい家でゆっくり過ごすのが好きです。そんな苦手な夏ですが、嬉しいこともあります。体感でしかないのですが、夏は渋谷の街から人が減る気がします。スクランブル交差点がいつもよりも穏やかに感じ、プチ非日常感が味わえるからなののでしょうか。“渋谷にきている若者たちが海に行くからなのか”と勝手に予測していますが、みなさん、その実感はありますか？

さて、alleyでは水遊びがはじまりました。今年のテーマは「0歳～5歳がまざり合う水遊び」です。今まではクラス単位で時間を分けてピロティで水遊びをしていましたが、実はこの水遊びってマンネリ化しやすいのです。「水」という素材は子どもたちにとって、魅力的な存在です。触りごちや温度、色、動き、重さ、様々な要素が詰まっているはずなのに大人はいつもありきたりな関わり合いになりがち……

子どもたちは知識や概念をとっぴらって、「水」の不思議と出会っていきます。つい先日も面白いことがありました。最近、氷作りにハマっている年長のHちゃん。水が入ったタッパーを大事そうに事務所に運びます。「氷できるかな～」と事務所の冷凍庫に無事に入れ、その日は意気揚々と3階へ帰っていきました。

翌日、凍った氷を冷凍庫から出し、嬉しそうにタッパーをお腹に抱えています。3階に持っていったかと思うと、すぐにHちゃんが事務所に戻ってきました。タッパーの中を見てみると水の中に半分溶けた氷が浮かんでるのが見えます。「あれ？どうしたの？」と聞くと「氷がなくなっちゃー」とそそくさと冷凍庫にしまいました。どうやら“溶けてなくなることが嫌だった”ようです。大人は氷が溶けることを前提に遊びを展開します。しかしこの時のHちゃんは「氷」を凍った状態で遊ぶことをイメージして凍らせていたのです。どんどん溶けていく様に儂さを感じ、全てがなくなる前に再度凍らせようと思いついたのでしょう。そしてHちゃんの氷への探求は続くのです。

子どもたちの発想って面白いですね。この姿をもし乳児が見ていたら、どんな関わりをしたでしょう。きっと全く違った結果になったと思います。様々な年齢の関わりは年上の子の手つきや発想に憧れ、時には年下の子の後先考えすぎないダイナミックな姿に惹き込まれ、互いに影響し合います。そして大人が予測できない関わりが生まれ、異なる波動がぶつかり、またどうにかしようと思考を巡らせるのです。

赤ちゃんが這い這いしている横で、幼児が水たまりを走りまわる風景を想像すると心配にもなりますよね。確かに水しぶきにびっくりする赤ちゃんもいると思います。そして泣くかもしれません。しかしその姿を見た幼児も驚くと思います。自分は楽しいことをしているのになぜ泣くの？と。また、赤ちゃんは思いもよらず水しぶきをかぶることになります。もちろんその瞬間は“怖さ”を感じると思いますが、生きていると思ひもよらない事ばかりおきますよね。そんなとき「怖かったね～びっくりしたね～」と安心する大人に包まれ、気持ちを落ち着かせます。その繰り返しが、これから起こる様々なことへの対応力が育まれるのでしょう。

異年齢の水遊び、どんなことが生まれ、発見があるか楽しみです。

※土公園ができ、今までにはなかった洋服の汚れ方をすることが増えてきましたが、これからは全身の泥遊びに拍車がかかっていくと思いますので、登園する洋服にはご注意ください！

渋谷東しぜんの国こども園 園長
名古屋 彩佳

保育エピソード 「Sさんの出会い」

児童遊園の砂場に座り、周りをじーっと見渡すSさん。ザルのような網目状の砂場道具をスリスリと触って感触を確かめてみたり、砂を握ったり放したりする。そんな姿を見守っていると、遊びがひと段落したのか私の顔をじーっと見つめた。そこで私は”少し目線を変えた方が楽しいかな？抱っこして周りをお散歩してみようかな？”とも思ったのだが、じっと見守る事にした。以前少し時間が経ってから自分のペースで動き出し、遊び始めた姿を思い出したからである。すると、Sさんは緑のバケツを手にとった。取っ手の部分をまず手前に倒す。もう倒れないところまで来ると、またすぐ取っ手を元に戻し、次は反対方向に取っ手を倒した。Sさんは目をまんまるにして真剣な表情。そのあとは、顔を全部隠すように中をのぞいて、バケツをぐるっとまわす。指をたててツーッと動かすと「ジジジジ」とかすかに音がする。静かに、じつくりと、Sさんが物と触れ合う姿に思わず釘づけになった瞬間だった。

私たちにとって、そこにあったものは何の変哲もない”緑のバケツ”であるが、Sさんはどう感じていたのだろうか。”丸いもの””穴が空いているもの””指で触ると音がするもの”？私たちにとっては、名前がつくと全部バケツになるものがSさんにとってはそのもの一つ一つとの出会いなのだ改めて気づいた。私もSさんと一緒に周りのモノやヒトとの出会いを全身で楽しんでいきたい。

今月のsmall alley play ground

ピックアップスポット

多古菊

住所: 東京都渋谷区道玄坂1-6-2 渋谷ファイブビル 1F

今年も夏が近づいて来たということで、渋谷再開発エリアのすぐそば、渋谷マークシティの裏側にある大衆酒場「多古菊」の夏季限定メニュー「冷やしおでん」をおすすめします。

こちらは、ただ冷やしてあるおでんという訳ではなく、おでん定番のたまご、だいこん、厚あげなど複数の具材を、ゼリー状のおでん出汁で包み込みひとつの煮こごりのように固めており、プリンのような綺麗な円錐台のルックスをしています。

見るのも食べるのも新鮮で楽しいので是非食べてみてください。

